

# 野津町商工会BCP（事業継続計画）および参考資料

資料番号	資料名	備考
<b>（１）モデルBCP（事業継続計画） ※各商工会にて事前に作成しておくべき資料</b>		
資料①	役職員携行カード	避難場所・連絡先等を事前に記入
資料②	緊急時連絡先一覧	既に作成済の類似資料で代替可能
資料③	避難ルートマップ	既に作成済の類似資料で代替可能
資料④	災害対策本部メンバーリスト	既に作成済の類似資料で代替可能
資料⑤	災害時業務リスト	既に作成済の類似資料で代替可能
資料⑥	救護用品一覧表	既に作成済の類似資料で代替可能
資料⑦	備蓄品リスト	既に作成済の類似資料で代替可能
資料⑧	立ち入り判断基準	既に作成済の類似資料で代替可能
資料⑨	帰宅判断基準	既に作成済の類似資料で代替可能
資料⑩	感染症対策	既に作成済の類似資料で代替可能
<b>（２）参考資料 ※災害発生時にそのまま使用／既に作成済の類似資料で代替可能</b>		
参考①	消火設備の使用方法	既に作成済の類似資料で代替可能
参考②	応急処置の方法	既に作成済の類似資料で代替可能
参考③	負傷者情報一覧表	災害時にそのまま使用
参考④	職員安否情報等確認用リスト（帰宅・滞在・勤務可否含む）	災害時にそのまま使用
参考⑤	役員連絡先リスト（安否・事業所状況確認用）	災害時にそのまま使用
参考⑥	事務所被害報告シート	災害時にそのまま使用
参考⑦	被害情報確認シート	災害時にそのまま使用
参考⑧	社外被災者受け入れリスト	災害時にそのまま使用
参考⑨	訓練の種類	
参考⑩	地域のリスクの認識	
参考⑪	オフィスの固定対策要領	
参考⑫	水災における事前対策	
参考⑬	国土交通省出典：大規模水災害に関するタイムラインの流れ	

**【資料①】役員職員執行カード**

- 初期動作のポイント
- 自身・家族の安全確保
- 避難場所
- 家族の安全確認
- 商家との連絡手段
- 商工会への安否報告
- 安否報告ルール
- 商工会への安否報告
- 商工会からの指示を待つ
- 指示があるまで原則待機

20XX年版

**3 家族との連絡手段**

電話、携帯電話がつかない場合、下記  
の電話番号サービスも利用する。  
※震度6以上の地震等の災害発生時に  
利用される。

**【伝言板登録】**  
各世帯の電話番号(MENU)Ezweb、  
Yahoo!ケータイなどのトップページに「伝  
言板登録」を選択し、「登録」を選択して伝  
言板を登録。

**【伝言板確認】**  
同じく各世帯会社のトップページから「災害  
用伝言板」を開き、「確認」を選択して震源地  
の伝言板確認画面に入って伝言板を確認  
する。

**【伝言板再生】**  
1711ダイヤル

**【再生】**⇒市外局番+市外電話番号  
⇒市外局番+市外電話番号  
※音声ガイダンスに従って操作

**1 自身・家族の安全確保①**

- 屋内にいる時  
1. 机やテーブルの下に隠れる  
2. 従って外に飛び出さない
- 屋外にいる時  
1. カバン、衣類等で頭を保護する  
2. 安全な建物へ避難、高層階も活用  
ガラス飛散防止→建物高さの1/2  
3. プラップ傘、門柱等に近寄らない
- 電車・地下鉄に乗車している時  
1. 市電等にしっかりとつかまる  
2. 乗務員に使い慣れた行動(勝手に)ト  
プアを開けたら乗降口に降りしらない
- 車に乗っている時  
1. 徐々に速度を落とし車側に車を寄せ  
停止、エンジンを切る。  
2. 車れがおさまるまで車外に出ない。  
3. 車から降りるときは、キーをつけた  
ままにし、ロックはしない。

**(参考) 家族・避難場所・連絡先**

避難場所	野津中央公民館
電話番号	0974-32-2270
市・区役所	白井市市民生活推進課
電話番号	0974-32-2220
病 院	岩 田 医 院
電話番号	0974-32-2017
本会連絡先	野 津 町 商 工 会
電話番号	0974-32-2389
電報連絡先	
電話連絡先	
郵便連絡先	
電話番号	

・日頃から家族で話し合い、自宅から  
避難しなければならぬ時の避難先や  
連絡先を決めておくこと。

**5 安否報告内容**

**安否報告内容**  
・自己及び家族の安否(現在の場所、  
負傷の有無/程度)  
・その他(他の職員に安否情報、周辺の火  
災発生状況・公共交通機関に関する情報  
など)

**1 自身・家族の安全確保②**

- 睡れがおさまったら  
1. 初原消火  
※火び炎井に届いていたらあきらめて  
退避する  
2. 初原活動  
※周囲と協力し、無理のない所から  
3. ドアの状態を開けて避難ルートを確認
- 避難する場合は？  
※避難経路・避難所に入らなればならぬ  
※避難用品を持って避難場所へ

**(参考) 災害伝言板利用方法①**

●NTTドコモの場合  
1. サービスの開始  
震度6以上の地震等の災害が発生す  
ると「Menu」のトップに「災害伝言板」  
が表示される。

2. メッセージの登録  
【メッセージ保存期間】  
「無事です」が確認がされます。「自宅に居  
ます」「避難所に居ます」の4つの中から  
選択、その他、全角100文字以内のコン  
トを登録可能。  
【メッセージ登録可能件数】  
1. 携帯電話番号で10件  
10件を超えればメッセージは古いものから  
順次上書きされる。

**0 職執行指針**

- 職工からの指示があるまでは、安全  
な場所待機し、自らの判断で勝手に動  
かない。
- 自分自身、及び家族の人命の安全確保  
を第一として行動する。

**2 避難場所**

●勤務場を基点とした避難場所

避難場所	野津中央公民館
広域避難場所	吉四六ランド

●自宅を基点とした避難場所

避難場所	
広域避難場所	

※通勤路上の場合は各交通機関、警察、消防  
等の指示に従い、その地域の避難場所等に  
一旦避難する。

**(参考) 災害伝言板利用方法②**

3. メッセージの確認  
「災害伝言板」から安否情報を確認した  
い人の携帯番号を入力し、メッセージを確  
認する。  
インターネット経由でも全国から確認可能。  
【メッセージ保存期間】  
登録から最大2時間

●auの場合  
EZwebのトップメニューから「災害伝言板  
」を選択し、同様の操作を実施。  
●softbankの場合  
Yahoo!ケータイのトップメニューから「災害  
伝言板」を選択し、同様の操作を実施。

**(参考) リスクの認識**

リスクの種類	発生頻度	被害程度
地震	高	甚大
火災	中	甚大
水害	中	甚大
その他	低	中

**(参考) 災害伝言ダイヤルの利用方法**

●NTT災害伝言ダイヤル(171)  
伝言板の登録  
(安否の登録) 1711ダイヤル  
1711にダイヤル 1711にダイヤル  
1をダイヤル 2をダイヤル  
電話番号を入力 電話番号を入力  
メッセージ録音 メッセージ録音

**(参考) リスクの認識**

リスクの種類	発生頻度	被害程度
地震	高	甚大
火災	中	甚大
水害	中	甚大
その他	低	中

**(参考) 地震発生時の被災想定**

被災想定	被害程度
建物倒壊	甚大
火災	甚大
水害	甚大
その他	中

**4 安否報告ルール<例>**

- 安否確認システムで、必ず商工会へ自  
身の安否を報告する。
- 安否確認システムを利用できない場合  
は、緊急連絡網により安否報告を行う。  
※報告内容  
⇒「商工会への安否報告参照」
- 商工会にいる職員は、避難後に点呼を  
実施の上、点呼結果をとりまとめ隊長に  
報告する。

**(参考) 地震発生時の被災想定**

被災想定	被害程度
建物倒壊	甚大
火災	甚大
水害	甚大
その他	中

**(参考) 地震発生時の被災想定**

被災想定	被害程度
建物倒壊	甚大
火災	甚大
水害	甚大
その他	中

**(参考) 地震発生時の被災想定**

被災想定	被害程度
建物倒壊	甚大
火災	甚大
水害	甚大
その他	中

## 【資料②】緊急時連絡先一覧

### ■社会インフラ

項目	名称	担当	連絡先	所在地	URL	備考
電気	九州電力(株)臼杵営業所		0120-986-506	佐伯市駅前2-6-53		
水道	臼杵市上下水道管理課		0972-63-1111	臼杵市大字臼杵72番1		
ガス	溝部米穀店		0974-32-2068	臼杵市野津町野津市56-5		
電話	NTT西日本		0120-116116	大分市長浜3-15-7-8F		(相談)116、(故障)113
IT/通信	大分県商工会連合会		097-534-9507	大分市金池町3-1-64 大分県中小企業会館5階		

### ■交通機関、道路

項目	名称	担当	連絡先	所在地	URL	備考
鉄道(JR)	JR臼杵駅		0972-63-8955	臼杵市大字海添2573-2		
	JR大分駅		097-532-1958	大分市要町1-1		
バス	臼津交通株式会社		0972-63-3153	臼杵市大字市浜674-3		
	大分交通(株)		097-532-5153	大分市新川西8組の3		
タクシー	臼杵タクシー(株)野津営業所		0974-32-2311	臼杵市野津町野津市61-4		
レンタカー	トヨタレンタカー 臼杵店		0972-64-0180	臼杵市大字市浜字堂尻1148番		
道路	大分県臼杵土木士事務所		0972-63-4136	臼杵市大字臼杵字洲崎72-254		

■消防、警察、自治体

項目	名称	担当	連絡先	所在地	URL	備考
消防	臼杵市消防署		0972-63-8780	臼杵市大字前田1851-4		
警察	臼杵津久見警察署		0972-62-2131	臼杵市大字臼杵72番地の61		
	野津市駐在所		0974-32-2081	臼杵市野津町大字吉田2996番地の1		
	日当警察官駐在所		0974-32-2111	臼杵市野津町大字宮原4276		
	清水原警察官駐在所		0974-32-2101	臼杵市野津町大字清水原1283-2		
保健所	大分県中部保健所		0972-62-9171	臼杵市大字臼杵字洲崎72-34		
役所・役場	臼杵市市民生活推進課		0974-32-2220	臼杵市野津町大字野津市326番地の1		
	臼杵市産業観光課		0972-86-2713	臼杵市大字臼杵72番1		
	臼杵市防災危機管理室		0972-63-1111	臼杵市大字前田1851番4(市消防本部)		
県	大分県商工観光労働企画課		097-506-3218	大分市大手町3-1-1		
	大分県防災危機管理課		097-533-0930	大分市大手町3-1-1		

■近隣医療機関

項目	名称	診療科	連絡先	所在地	URL	備考
	野津第一内科医院	内科、神経内科等	0974-32-3355	臼杵市野津町大字野津市510番地		
	岩田医院	内科、外科等	0974-32-2017	臼杵市野津町大字野津市156番地		
	恵の聖母の家	内科、小児科等	0974-32-7770	臼杵市野津町都原3601-2		

■近隣宿泊施設

項目	名称	担当	連絡先	所在地	URL	備考
旅館	旅館橘屋		0974-32-2026	臼杵市野津町野津市586-1		

■業務関連

項目	名称	担当	連絡先	所在地	URL	備考
全国連	全国商工会連合会		03-6268-0088	東京都千代田区有楽町一丁目7番1号 有楽町電気ビル北館19階		
都道府県連	大分県商工会連合会		097-534-9507	大分市金池町3-1-64 大分県中小企業会館5階		
近隣商工会等	豊後大野市商工会		0974-22-1193	豊後大野市三重町市場539		
	九州アルプス商工会		0974-76-0151	竹田市久住町大字久住6161番地1		
	佐伯市番匠商工会		0972-46-0402	佐伯市弥生大字上小倉656番地1		
	佐伯市あまべ商工会		0972-33-0217	佐伯市鶴見大字地松浦1348		
	臼杵商工会議所		0972-63-8811	臼杵市大字臼杵字洲崎72番地の126		

■金融機関

項目	名称	担当	連絡先	所在地	URL	備考
銀行	(株)大分銀行野津支店		0974-32-2332	臼杵市野津町野津市310-1		
信用組合	大分県信用組合野津支店		0974-32-2046	臼杵市野津町野津市264		

■各種連絡先（設備、システム、物流、損害保険など）

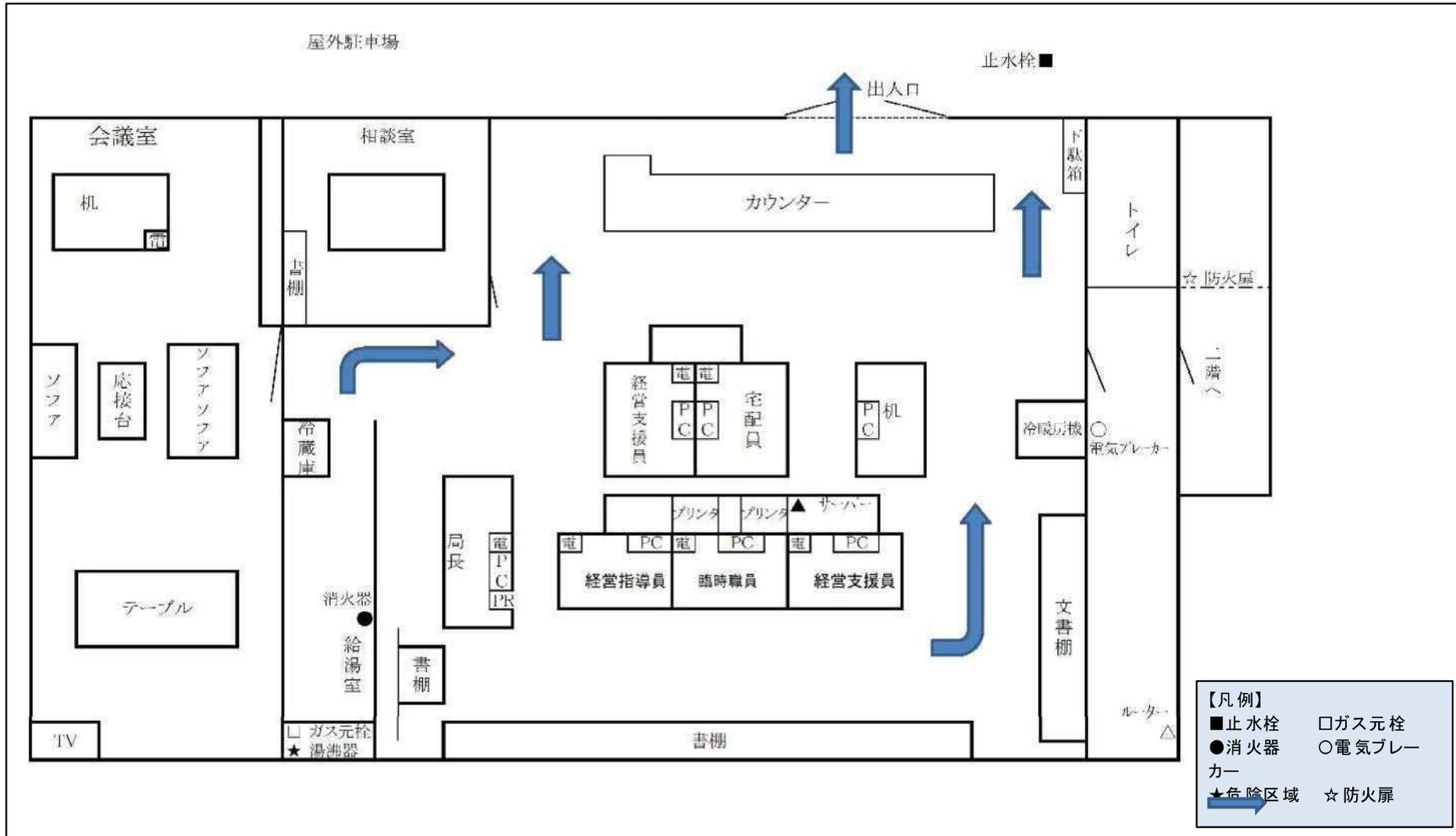
項目	名称	担当	連絡先	所在地	URL	備考
設備	(有)伸栄電設		0974-32-7746	臼杵市野津町西寒田2043-1		
郵便局	野津郵便局		0974-32-3130	臼杵市野津町野津市22-2		
	豊後田野郵便局		0974-32-3131	臼杵市野津町亀甲2572		
	川登郵便局		0974-32-3132	臼杵市野津町清水原1208-1		
	南野津郵便局		0974-32-3134	臼杵市野津町吉田1266-3		
火災保険	大分県火災共済協同組合		097-537-7122	大分市金池町3-1-64		

■近隣の避難所

項目	連絡先	所在地	備考
野津中央 公民館	0974-32-2270	野津町 大字野津市184	
野津小学校	0974-32-2004	野津町 大字山頭3100	
旧田野小学校		野津町 大字亀甲4014	
川登小学校	0974-32-3186	野津町 大字清水原1341	
南野津小学校	0974-32-2151	野津町 大字西畑600	
野津中学校	0974-32-2039	野津町 大字野津市666	
旧戸上小学校		野津町 大字西寒田2989	
旧都松小学校		野津町 大字都原1114-1	
旧西神野小学校		野津町 大字西神野1070	
南野津地区 公民館	0974-32-3333	野津町 大字吉田161	
田野地区 公民館	0974-32-7845	野津町 大字亀甲4010	
吉四六ランド		大分県臼杵市野津町大字原326	

# 【資料③】避難ルートマップ

避難場所  
(集合場所)







## 【資料⑥】救護用品一覧表

No.	品目	備蓄量	配置場所	更新		備考
				更新日	次期更新予定日	
1	ICボトル(簡易除菌洗浄器、1本)	1	事務所内倉庫			
2	救急三角巾(3枚)	1	事務所内倉庫			
3	伸縮包帯(4裂3個)	1	事務所内倉庫			
4	ガーゼ(3枚)	1	事務所内倉庫			
5	救急絆創膏(10枚入2箱)	1	事務所内倉庫			
6	脱脂綿(5g入3袋)	1	事務所内倉庫			
7	紙絆創膏(1個)	1	事務所内倉庫			
8	清浄綿(5枚)	1	事務所内倉庫			
9	綿棒(10本入3袋)	1	事務所内倉庫			
10	体温計(1本)	1	事務所内倉庫			
11	災害用ハサミ(1本)	1	事務所内倉庫			
12	とげ抜き兼用ピンセット(1本)	1	事務所内倉庫			
13	止血帯(1)	1	事務所内倉庫			
14	タオル(3)	1	事務所内倉庫			
15	はさみ(1)	1	事務所内倉庫			
16	消毒薬(1)	1	事務所内倉庫			
17	傷薬(1)	1	事務所内倉庫			
18	かぜ薬(1)	1	事務所内倉庫			
19	解熱剤(1)	1	事務所内倉庫			
20	やけど薬(1)	1	事務所内倉庫			
21	湿布薬(1)	1	事務所内倉庫			
22	ゴム手袋(1)	1	事務所内倉庫			

## 【資料⑦】備蓄品リスト

項目	備蓄量	保管場所	点検月日	補充月日
<b>緊急避難用(リュックサック)</b>				
緊急用ホイッスル、2wayドライバー、ミニカッターナイフ、圧縮袋、予備袋(小銭入れ)、筆記用具セット、歯ブラシ×3本、綿棒×20本、マスク×3枚、携帯用トイレ×3個、ポリ袋(45L)×3枚、紙皿×3枚、プラカップ×5個、割り箸×5膳、スプーン・フォークセット(各1)、2way懐中電灯(電池/別売)、ラバー手袋、お薬ケース、布テープ、レインポンチョ、EVAサンダル、アルミシート、アルミブランケット、エア枕、非常用給水バッグ(5L)、ラップ、アルミホイール、ボディタオル、ティッシュ	2	事務所内倉庫		
<b>食料品の備蓄 ※人数×3日分</b>				
非常食(3食×3日分)	5	事務所内倉庫		
飲料水(3リットル×3日分)	5	事務所内倉庫		
<b>防災・復旧用品</b>				
懐中電灯、予備電池	1	事務所内倉庫		
コードリール	1	事務所内倉庫		
ブルーシート	2	事務所内倉庫		
粘着テープ	2	事務所内倉庫		
テント	1	事務所外倉庫		
点検補修工具(ボックスタイプ)	1	事務所外倉庫		
レインコート	2	事務所外倉庫		
<b>保護・救援用品</b>				
救急箱1(救護用)セット ※資料⑥ 10ボトル(簡易除菌洗浄器、1本)、救急三角巾(3枚)、伸縮包帯(4裂3個)、ガーゼ(3枚)、救急絆創膏(10枚入2箱)、脱脂綿(5g入3袋)、紙絆創膏(1個)、清浄綿(5枚)、綿棒(10本入3袋)、体温計(1本)、災害用ハサミ(1本)、とげ抜き兼用ピンセット(1本)	1	事務所内倉庫		
救急箱2(医薬品他)セット ※資料⑥ 止血帯、タオル、はさみ、消毒薬、傷薬、かぜ薬、解熱剤、やけど薬、湿布薬、ゴム手袋	1	事務所内倉庫		
ヘルメット	5	事務所内倉庫		
毛布(上下セット・真空パック)	2	事務所内倉庫		
タオル(5枚セット)	2	事務所内倉庫		
<b>生活用品、その他</b>				
ラジオ(防水機能・電池+手巻きハンドル充電)	1	事務所内倉庫		
携帯電話充電器	1	事務所内倉庫		
連絡用自転車	1	事務所外倉庫		
簡易トイレ	1	事務所外倉庫		
衛生用品(セット) トイレトペーパー(10個入り、1) 消臭剤(1)、消毒剤(1)、ゴミ袋(1)、ウエットティッシュ(1)、生理用品(1) トイレトペーパー(10個入り、1) 消臭剤(1)、消毒剤(1)、ゴミ袋(1)、ウエットティッシュ(1)、生理用品(1)	1	事務所内倉庫		
日用品(セット) 石鹸(1)、缶きり又は十徳ナイフ(1)、カセットコンロ(1、予備ボンベ3本)、非常用鍋・やかん(1)、漂白剤(1)、バケツ(1)、軍手(1打)	1	事務所内倉庫		

## 【資料⑧】立ち入り判断基準

＜判断基準＞ 原則、建物の外観を目視で確認し、C、D、Eが一つでもある場合は「立ち入り禁止」と

### ■立ち入り不可のケース

No.	チェック内容	該当事項	チェック結果				
			A	B	C	D	E
1	店舗周辺で地滑り、がけ崩れ、地割れ、噴砂、液状化が見られるか？	A. いいえ B. 見られる C. 多く見られる				/	/
2	建物の沈下又は建物周辺の地盤が沈下しているか？	A. いいえ B. 10cm以上沈下している C. 20cm以上沈下している				/	/
3	建物が傾斜していないか？	A. いいえ B. 傾斜しているような気がする C. 明らかに傾斜している				/	/
4	床が損傷しているか？	A. いいえ B. 少し損傷している C. 損傷している				/	/
5	柱が損傷しているか？	A. いいえ B. 表面が少し剥離している C. 大きな亀裂が入っている D. 鉄筋、鉄骨が見える E. 柱がつぶれている					
6	壁が損傷しているか？	A. いいえ B. 表面が少し剥離している C. 大きな亀裂が入っている D. 鉄筋、鉄骨が見える E. 壁が崩れている					
7	火災は発生しているか？	A. いいえ B. 不明 C. 煙が漂っている				/	/
8	危険物・ガスが漏洩しているか？	A. いいえ B. 不明 C. 漏えいしている				/	/
合 計							
<p>危険=C、D、Eが一つでもある場合は「立ち入り禁止」とする。                      要注意=Bが一つでもある場合は余震などに細心の注意を払った場合のみ「立ち入り注意」とする。                      安全=すべてAの場合、「立ち入り可」とする。</p>							

# 【資料⑨】帰宅判断基準

＜判断基準＞ 原則、下表のチェック結果をもとに危険がないと考えられる場合に帰宅を認める

## ■収集すべき情報

- ①行政の指針
- ②警報の発生状況
- ③自宅までの経路の状況（道路や橋梁の通行可否、火災発生エリア、建物崩壊エリア等）
- ④自宅までの距離
- ⑤日没までの時間
- ⑥天候

## ■徒歩で帰宅する場合

No.	確認事項	チェック結果
1	＜帰宅先までの距離＞ □帰宅先までの距離が20km以内か。（2.5km/時で歩行時間約8時間）	
2	＜日没時刻＞ □日没までに帰宅できるか。 （参考）震災時の徒歩帰宅の場合の速度の目安は約2.5km/時。	
3	＜気候＞ □数時間先の気候（天気・気温）について、警報等は出ていないか。	
4	＜帰路の状況＞ □帰路に大規模な火災が発生していないか。 □帰路の道路状況（通行禁止区域、落橋、混雑等）の情報はどうか。 □帰路の治安悪化に関する情報はないか。	
5	＜帰宅時の装備＞ □ヘルメット（あるとベター） □携帯電話等の通信機器 □小銭、テレホンカード（公衆電話用） □歩きやすい靴 □地図 □その他（水、食糧等）	
6		
7		
8		

## ■車で帰宅する場合

No.	確認事項	チェック結果
1	＜帰路の状況＞ □帰路に大規模な火災が発生していないか。 □帰路の道路状況（通行禁止区域、落橋、混雑等）の情報はどうか。	
2	＜停電＞ □停電していないか。	
3	＜帰宅時の装備＞ □車に燃料は十分にあるか。 □携帯電話等の通信機器 □小銭、テレホンカード（公衆電話用） □地図 □その他（水、食糧等）	
4		
5		

# 【資料⑩】感染症対策

## 1. 感染症の拡大防止策

手洗いの徹底 マスクの着用	<input type="checkbox"/> 利用者・職員にマスク着用の徹底を周知し、着用していない場合は配布等に努めている。 <input type="checkbox"/> 消毒備品等を各所に設置し、利用者・職員に手洗いや手指消毒の徹底を周知している。 <input type="checkbox"/> 共用タオル等を使用しない、衣類をこまめに洗濯するなど、衛生管理を徹底している。
ソーシャル ディスタンス	<input type="checkbox"/> 行列整理や床の目印表示等により、混雑を回避している。 <input type="checkbox"/> 座席の工夫など従業員も含めて対人間隔を確保し、大声で会話しないよう周知している。 <input type="checkbox"/> 対面が想定される場所への遮蔽物の設置等で接触機会を低減している。
3密※を 避けた行動 <small>※密閉、密集、密接</small>	<input type="checkbox"/> 3密が予想される場合、入場者数・滞在時間の制限等を行っている。 <input type="checkbox"/> 扉や窓を開け、扇風機を外部に向けて使用するなど、定期的な換気を行っている。 <input type="checkbox"/> 職員の休憩室等ではできる限り換気を行い、対面で食事・会話をしないようにしている。
施設の 清掃・消毒	<input type="checkbox"/> 複数の人が触れる場所や物品を極力減らし、難しい場合はこまめに清掃・消毒している。 <input type="checkbox"/> 使用済みマスク等は、ビニール袋に入れて縛るなど密閉して捨てるよう表示している。 <input type="checkbox"/> 清掃・消毒・ごみ回収は手袋・マスクを着用し、事後に手洗い・手指消毒を徹底している。
利用者・職員の 体調管理	<input type="checkbox"/> 利用者で熱がある者は入場をご遠慮いただくようお願いするなどの取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 職員に出勤前に検温や体調確認をさせ、毎日報告させている。 <input type="checkbox"/> 体調不良の職員に休養を促し、勤務中に体調不良になった者はただちに帰宅させている。 <input type="checkbox"/> 所轄の保健所の確認や来場者の把握など、感染者等の発生に備えた取組を行っている。

### 【留意点】

新型インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等については、平時より拡大防止を図ることが重要であり、事業を実施していくためには、商工会館・事業所等での感染防止対策の徹底を図る必要がある。適宜各自治体が定めるガイドライン等も参考にしつつ、上記のような基本動作については予め徹底しておく。

## 2. 感染症発生時の対応

時間	優先業務とすべき事項	職員の対応	
発生前 (海外発生ラフェース)	<ul style="list-style-type: none"> <li>社内における感染防止策の周知徹底</li> <li>感染流行国への出張禁止</li> <li>安否確認システムによる連絡先の整備・確認および職員の家族に要介護者がいるか等の属性情報の整理</li> <li>危機対策本部の設置準備</li> <li>必要備品（マスク・消毒薬等）の調達</li> <li>優先業務のランク付け</li> <li>在宅勤務可能業務の選定</li> <li>人手不足に備えた業務体制の構築（ジョブローテーション等）</li> </ul>	<<勤務中>> <b>■</b> マスク着用、手洗いの励行等感染予防対策  <b>■</b> 安否確認システムの確認への返信	<<勤務外（通勤中含む）>> <b>■</b> マスク着用、手洗いの励行等感染予防対策  <b>■</b> 安否確認システムの確認への返信  <b>■</b> 子供・要介護者等、感染が拡大した際の対応の検討
		<<勤務中>> <b>■</b> 感染防止対策の徹底  <b>■</b> 公共交通機関を利用しない方法の検討・時差出勤の検討  <b>■</b> 安否確認システムへ必ず返信及び家族に留意事項がある場合の報告  ※感染拡大防止を第一に考え、体調に不安がある場合は無理せず自宅待機とする。	<<勤務外（通勤中含む）>> <b>■</b> 感染防止策の徹底  <b>■</b> 公共交通機関をなるべく避ける  <b>■</b> 安否確認システムへ必ず返信及び家族に留意事項がある場合の報告  <b>■</b> 不要不急の外出を避ける  ※感染拡大防止を第一に考え、体調に不安がある場合は無理せず自宅待機とする。
発生当日	<ul style="list-style-type: none"> <li>安否確認システムの発動（役職員の出社体制を指示・確認）</li> <li>通勤手段の確保（徒歩・自転車・自家用車を使用可能な場合優先する）</li> <li>危機対策本部の設置（正副会長や役員と連絡をとり、事務局長や経営指導員責任者は参集）</li> <li>削減候補業務を段階的に縮小、テレワークの指示</li> <li>レイアウトの変更、時差出勤の指示</li> </ul>	<<勤務中>> <b>■</b> 感染防止対策の徹底  <b>■</b> 公共交通機関を利用しない方法の検討・時差出勤の検討  <b>■</b> 安否確認システムへ必ず返信及び家族に留意事項がある場合の報告  ※感染拡大防止を第一に考え、体調に不安がある場合は無理せず自宅待機とする。	<<勤務外（通勤中含む）>> <b>■</b> 感染防止策の徹底  <b>■</b> 公共交通機関をなるべく避ける  <b>■</b> 安否確認システムへ必ず返信及び家族に留意事項がある場合の報告  <b>■</b> 不要不急の外出を避ける  ※感染拡大防止を第一に考え、体調に不安がある場合は無理せず自宅待機とする。

## 【参考①】 消火設備の使用方法

(1) 大きな声で周囲の人に火災を知らせ、消火器を火災場所まで運ぶ。

(2) 消火器の安全栓を抜く。



(3) ホースをはずし火元に向ける。

この事業所の消火器は、『〇〇〇』にあります。



(4) レバーを強く握る。



(5) 放射する。



<参考：横浜市消防局資料から抜粋>

### 【注意】

天井に炎が到達または天井に燃え移った時点で、消火器による消火活動はできないと判断する。  
その場合、速やかに初期消火を中止し避難をはじめるとする。

## 【参考②】応急処置の方法

＜出典＞総務省消防庁HP「わたしの防災サバイバル手帳」

### 第②章

# おぼえておこう！ 応急手当

## 身につけよう！

大きな災害が発生して、けがをしてしまった場合、また、自分は無事でも家族やまわりの人がけがをしている場合、どうすればよいのでしょうか。災害時は、ふだんのように救急車がかけつけられないことも考えられます。こうした場合にそなえて、少しでも役立つ応急手当の知識を身につけておきましょう。

### ケガの 応急手当

## やってみよう！

### 1. 切りキズ などによる出血

キズの手当ては、1.出血を止める(止血)、2.細菌の侵入を防ぐ、3.痛みをやわらげる、という3つのことを意識しながら行おう。



#### 応急手当

- 1.出血しているところを完全におおえる大きさの清潔なガーゼや布でやや強く押さえ、止血する。
- 2.患部を清潔に保ち、包帯などを替く。
- 3.ひかに血液にふれないようにビニール・ゴム手袋を利用する(スプレーの袋などでもよい)。

#### 応急手当

- 1.流水で患部を冷やすのがいちばんよいが、水が出ないときは、水でぬらした清潔なガーゼやタオルをひんばんにかえて冷やす。
- 2.水ぶくれは破らないようにする。
- 3.消毒ガーゼがきれいな布を当て、包帯をする。



### 2. やけど

- ※キズ、やけどの場合、やたらに医薬品を使うのはやめよう。
- ※キズ口に直接、わたやチリ紙を当てないようにしよう。
- ※キズややけどがひどい場合は、病院でみてもらおう。

### 3. 骨折

#### 応急手当

- 1.出血している場合は、その手当てをする。
- 2.梶子を当て、痛くない位置で固定する。梶子は骨折部分の上下の関節より長くする。
- 3.骨が突き出しているときは、その上に清潔なガーゼか布を当て、シーツなどでくるむ。

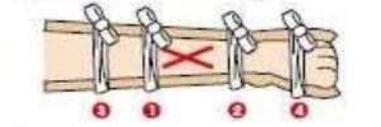
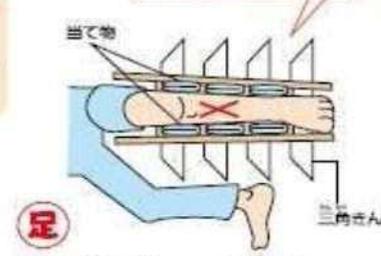


- 1.骨折しているところに梶子を当て、その上下を固定する。
- 2.三角さんでつったあと、さらに胸部に固定する。

#### ★骨折のみかた

- 激しい痛み ●はれたり変形している
- 冷や汗がでたり、寒気がする ●さわってみると骨がずれている
- キズ口から骨のはしが出ている

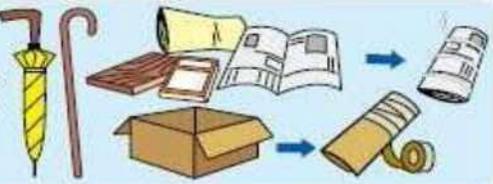
#### 固定のみかた



- 1.骨折しているところの両側から、梶子を当てる。
- 2.関節が動かないよう、1～4の順番に固定する。

#### ★梶子とは？

棒や板、かさ、ステッキ、段ボール、新聞紙・雑誌(かたく折り曲げる)、毛布などで、骨折部分を動かさないように固定できるもの。



- ※骨折したところはしっかり固定して動かさないようにする。
- ※骨がとび出している場合でも、元に戻さない。また、キズ口は洗わないこと。
- ※固定が強すぎると血の流れが悪くなり、危険な場合もあるので注意する。その観察のためにも、指先や足先が見えるようにしておく。

## 4. ねんざ

**1** 三角巾1枚を用意し、たたみ、中央を足のうらに当てる。

**2** 三角巾の両はしを足のうしろに引き上げて交差させる。

**3** 三角巾の両はしを足首の方に回し、足首で交差させ、両はしをかかととかななめにまいた三角巾の内側に通す。

**4** 三角巾の両はしを足首の前で結び、足首の前で結び、足首の前で結び。

### 応急手当

1. 腫れは冷やす。
2. くっちはキズ木のかわりになるので、熱がないでその上から三角巾や布などで固定する。

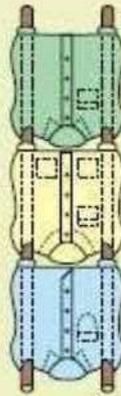
## 知っていると便利!

### ★応急担架のつくり方

動けない人を通ぶときは、衣類や毛布を使って、応急担架をつくりまます。

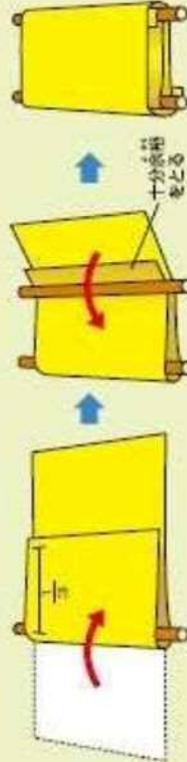
### 1 上着を活用

図のように2本の棒に上着を通します。



### 2 毛布を活用

毛布の1/3のところを畳置いて、毛布をおり返してつくりまます。



## 救急箱の中身

- ※救急箱はいつも同じ場所に置こう。
- ※薬やガーゼは使ったらすぐに補充しよう。
- ※年1回は点検をして、古くなった薬やガーゼはすぐ廃棄しよう。
- ※救急箱の中身は必要最低限のものだけにしよう。

### ★救急箱の中身の例

	三角巾 包帯(4号・6号が便利)		ばんそうこう(大・小)		体温計
	消毒ガーゼ きれいなタオル		ばんそうこう(大・小)		ばんそうこう(大・小)
	はさみ・ピンセット		ばんそうこう(大・小)		ばんそうこう(大・小)
	キズ口用の消毒液		ばんそうこう(大・小)		ばんそうこう(大・小)
	安全ピン		ばんそうこう(大・小)		ばんそうこう(大・小)

### 読みのもの

#### 病院がいろいろになってしまうと...

災害が発生して多くのけが人がでると、みんな病院でみてもらおうと考えます。しかし、病院やお薬屋さんも被害を受け、満足な手当ができないことも考えられます。ただでさえけが人がいっぱい、しかも施設が使えない、そのとき問題になるのが、本当に手当を必要としている人と、そうでない人の区別です。災害時に、けがの程度に応じて患者を区分していくことを「トリアージ」といいます。トリアージはフランス語で、もともとはトリアージ・タックという色のついたラベル(黒、赤、黄、緑)を使って患者の区分をします。わたしたちも本の知識ばかりではなく、講習会などで体験することによって、応急手当や救出搬送の知識を身につけ、いざというときに役立てたいものです。



トリアージ・タック

# どうするの

## 人がたおれていたら

### ① 意識があるが倒れる

#### 意識を回復する方法

- ★よびかけて返事をするか、水筒はできるか。
- ★手足を動かしているか、★痛みに対して反応はあるか。

### ② 協力してくれる人を求める

★意識の障害があった場合は、すぐその場で救急車をよんでもらったり、大声でまわりの人をよびます。

### ③ 5つの観察と応急手当

#### 1. 周囲の安全の確認

たおれている場所が安全かどうかを確認し、危険な場所からは安全な場所へ移動する。

#### 3. 救急車をよぶ

まず、意識の有無を確認し、意識がなければ近くの人に助けを求め、救急車をよぶ。

#### 4. 交通の確認

意識がないときは呼吸がしやすすいよう空気の通り道を確認する。

#### 5. 呼吸の確認

呼吸が止まっていたら、すぐに人工呼吸を行う。

#### 2. 出血の確認

大出血があったらすぐ止血する。

#### 人工呼吸

① 顔面を人差し指で、鼻をつまみ、口の片方をさす。

② 大きく口をきけて鼻から1指と指かりて鼻を収め、息を吐き込む。

③ 顔がくぼくぼく入れば、もう一回息を吐き込みます。

#### 新着は通

① 車の暴走中に手乗車は、暴走に停車を呼び、救命がAccum-Sum 方向に注視されるように1分間10000歩まで3回ほど歩きます。歩数は歩数計で計ります。



② 30日以内に、人工呼吸を2回行います。この動作を一日一回繰り返して行います。



#### AEDが使える

##### ① 電源を入れる



② 黄緑色のボタンを押し、胸の中央で導いていたらスタートが合います。



③ ショックボタンを押す際も電極板に指を付けていないことを確認したら、合図しているショックボタンを押します。



④ 黄緑色のボタンを押す際は、AEDの指示に従って指示された通りに行います。

⑤ 山道は、AEDの音声メッセージに従います。

※心臓病、人工呼吸、救急車、AEDの手帳は、緊急時に連絡が、持ち手の緊急や目的の事故（例えば、嵐などの自然災害）が原因となり、車体どおりの車は出庫するまで使えます。

#### ★夏は暑さによる脱水症状に注意

夏場、注意しなければならぬのは、暑さによる脱水症状です。暑いと人間は汗をかきませんが、このとき水分や塩分は体の外へ出てしまします。すると、血液が薄れにくくなってしまい、その分血液を送り出すために心臓に負担がかかります。脱水症状をおこすと、頭痛、ほてり、めまい、体温上昇、だるさなどの症状があらわれ、意識がなくなり危険な状態になることもあります。ムリをして長い時間炎天下で運動をしないことがいちばんですが、次のことに注意しましょう。

#### 予防法

- ★外ではぼうしをかぶり、長い時間炎天下で過ごすな。
- ★まめに水分をとる。スポーツドリンクは糖分や塩分、ミネラルも同時に補給できます。
- ★夜不安やつかれているときにムリをしない。

#### 応急手帳

- ★体温 素体状態に安静をさせ、衣服をゆるめたりめがせたりして、体を冷やす。
- ★清涼 エアコンの入っているところ、風通しのよい日かげなどですすしいところで休ませる。
- ★水分補給 水が飲めるようであれば、少しずつ水を飲ませる。

※ほてりがある、意識がぼんやりしないなど、危険な状態であれば救急車をよぼう。

【参考③】負傷者情報一覧表

月 日 時 分 (24時制) 時点

No.	受付日時	所属	負傷者氏名	救護所受付者	負傷箇所	症状	処置	ステータス			備考
								症状	病院への搬送状況	家族への連絡状況	
1								軽・重・死	不要・未・済( /、: )	不要・未・済( /、: )	
2								軽・重・死	不要・未・済( /、: )	不要・未・済( /、: )	
3								軽・重・死	不要・未・済( /、: )	不要・未・済( /、: )	
4								軽・重・死	不要・未・済( /、: )	不要・未・済( /、: )	
5								軽・重・死	不要・未・済( /、: )	不要・未・済( /、: )	
6								軽・重・死	不要・未・済( /、: )	不要・未・済( /、: )	
7								軽・重・死	不要・未・済( /、: )	不要・未・済( /、: )	
8								軽・重・死	不要・未・済( /、: )	不要・未・済( /、: )	
9								軽・重・死	不要・未・済( /、: )	不要・未・済( /、: )	
10								軽・重・死	不要・未・済( /、: )	不要・未・済( /、: )	





## 【参考⑥】事務所被害報告シート

確認場所		確認日時	
確認者			

確認項目		確認内容	確認結果	備考
火災		火災発生の有無		
執務室内	床	陥没		
	壁・扉	亀裂、破損		
	天井パネル	亀裂、落下		
	PC端末	破損、落下、転倒		
	その他			
廊下	床	陥没		
	壁	亀裂、破損		
	天井パネル	亀裂、落下		
給湯室	ガス	漏れ、ガス臭		
	水道	漏水、水が出るか		
	その他	棚、食器の破損		
トイレ	水道	漏水、水が出るか		
	便器など	破損		
	窓・鏡	ガラス割れ		
建物全体	建物躯体	倒壊の恐れ		
	電力	停電		
	エレベーター	停止・閉じ込め		
	空調	停止		
その他				



## 【参考⑦-2】被害情報確認シート（第 報）

作成日時	令和 年 月 日	作成者 (所属・役職・氏名)	( )
	AM・PM 時 分		

### 【水害関連情報】

警報等の状況	<input type="checkbox"/> 大雨特別警報 <input type="checkbox"/> 土砂災害警戒情報 <input type="checkbox"/> その他気象情報( )		
浸水被害の状況	<input type="checkbox"/> 被害あり	状況(地区・事業者の有無 等)	
	<input type="checkbox"/> 被害なし		
河川氾濫発生状況	状況		
避難勧告等々の発令状況	状況(地区・発令内容)		
天候情報	天候: 晴れ・くもり・雨・( )    気温: °C 降水確率: %    日没時間: PM 時 分		
その他	状況(その他特記事項等)		

### 【会館の周辺状況】

分類	項目	周辺状況	備考/その他地域状況
周辺火災	周辺での火災発生	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (発生地域: ) (消火状況: )	
周辺建物	周辺建物の損壊状況	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (発生地域: ) (被害状況: )	
ライフライン	電力	<input type="checkbox"/> 通電 <input type="checkbox"/> 停電 (復旧見込時期: )	
	上水道	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 断水 (復旧見込時期: )	
	下水道	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 異常 (復旧見込時期: )	
	ガス	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 停止 (復旧見込時期: )	
通信	固定電話	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 困難 <input type="checkbox"/> 不通	
	携帯電話	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 困難 <input type="checkbox"/> 不通	
	インターネット	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 困難 <input type="checkbox"/> 不通	
	その他通信	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 困難 <input type="checkbox"/> 不通	
交通(鉄道)	線	<input type="checkbox"/> 稼動 <input type="checkbox"/> 運休 <input type="checkbox"/> 他	
	線	<input type="checkbox"/> 稼動 <input type="checkbox"/> 運休 <input type="checkbox"/> 他	
	線	<input type="checkbox"/> 稼動 <input type="checkbox"/> 運休 <input type="checkbox"/> 他	
交通(道路)		<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 渋滞 <input type="checkbox"/> 交通規制	
		<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 渋滞 <input type="checkbox"/> 交通規制	
		<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 渋滞 <input type="checkbox"/> 交通規制	
		<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 渋滞 <input type="checkbox"/> 交通規制	
その他	原発状況	<input type="checkbox"/> 稼動 <input type="checkbox"/> 停止 <input type="checkbox"/> 損壊等	
	避難所状況	<input type="checkbox"/> 受け入れ可 <input type="checkbox"/> 受け入れ不可	
	政府・自治体発表		
			24 / 30



## 【参考⑨】訓練の種類

訓練名称	概要	実施目安	実施予定日	実施日
避難訓練	実際に定められた避難経路に沿って避難行動を実施する。 ※留意点1 津波想定区域については、津波避難訓練も併せて実施する。 ※留意点2 大規模水害の場合は、垂直避難(2階避難、階上避難)と水平避難(避難所避難、高台避難等)の2種類の避難が想定されることに留意する。	年1~2回	( )月( )日 ( )月( )日	( )月( )日 ( )月( )日
消火訓練	事務所内にある消火器の扱い方や消火方法等について訓練を実施する。	年1回	( )月( )日	( )月( )日
水防訓練	大規模水害に備えた止水版・土嚢設置等の訓練を実施する。	年1回	( )月( )日	( )月( )日
応急救護訓練	応急手当の方法等について訓練を実施する。	年1回	( )月( )日	( )月( )日
救助訓練	下敷きになった人の救助方法や搬送方法等について訓練を実施する。	年1回	( )月( )日	( )月( )日
安否確認訓練	導入している安否確認システムの扱い方について訓練を実施する。	年1~2回	( )月( )日	( )月( )日
帰宅訓練(徒歩)	交通機関が遮断していることを想定し、徒歩での帰宅を実施する。	年1回	( )月( )日 ( )月( )日	( )月( )日 ( )月( )日
災害対策本部設置訓練	災害対策本部のレイアウト等を確認し、スムーズに本部が設置できるか訓練を実施する。	年1回	( )月( )日	( )月( )日
災害対策本部参集訓練	災害対策本部メンバーの参集ルールに従い、参集できるかどうか訓練を実施する。	年1回	( )月( )日	( )月( )日
通信機器操作訓練	導入している通信機器(衛星電話、IP無線等)の作動状況、操作方法等を確認する。	年1回	( )月( )日	( )月( )日
バックアップデータに関する訓練	バックアップしているデータや書類が利用できるか、バックアップ場所から取り出す訓練を実施する。	年1回	( )月( )日	( )月( )日
図上シミュレーション訓練	ある災害シナリオを想定し、決められたルールに従って災害対応ができるか、シミュレーションにて訓練を実施する。	年1回	( )月( )日	( )月( )日

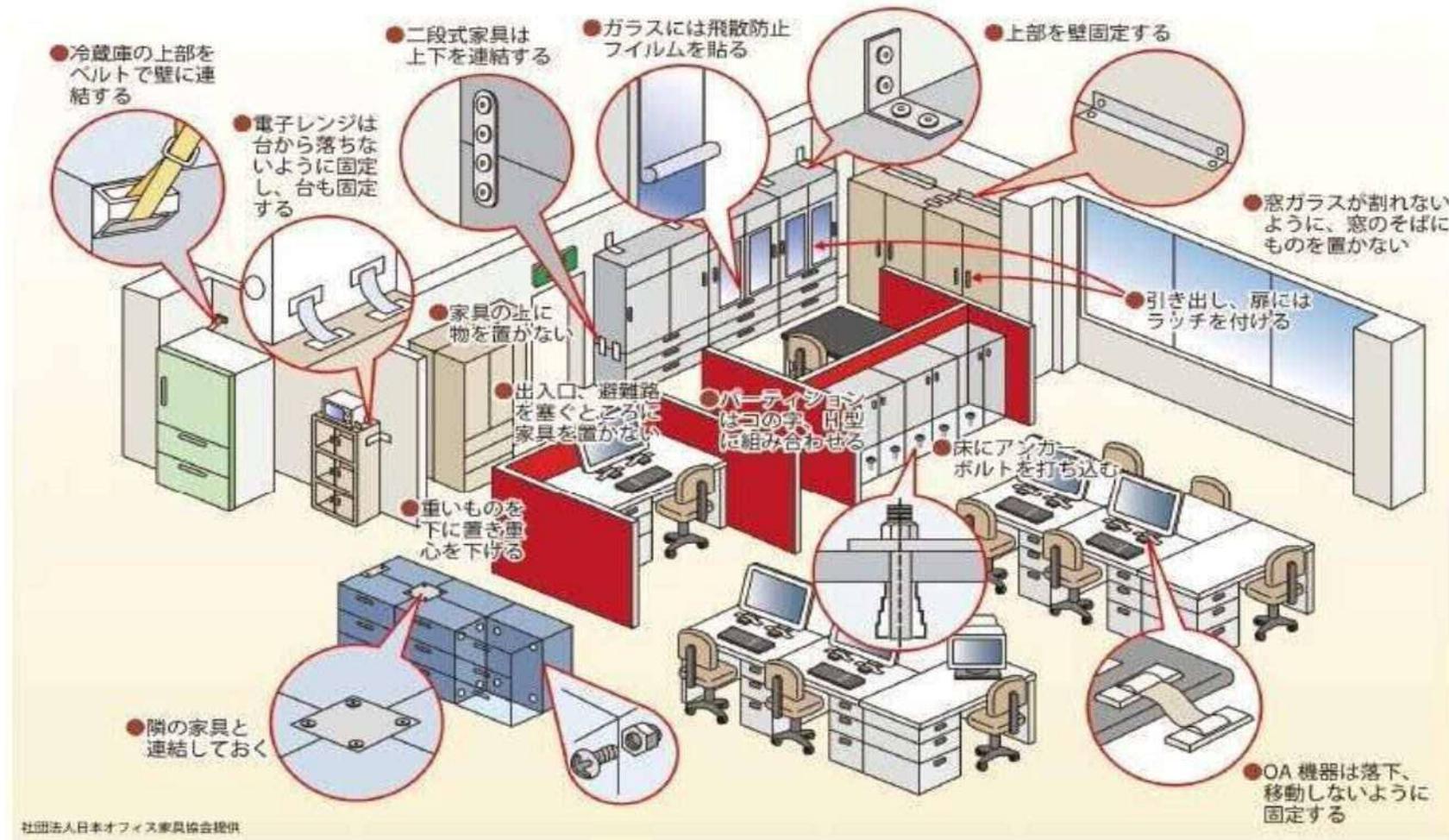
## 【参考⑩】地域のリスクの認識

下記URLのほか、国及び各市町村等が発表しているハザードマップ等を参考に、事前に自所を取り巻くリスクを認識しておきましょう

災害	調査項目	発行元	コンテンツ	URL	備考
地震	主要地震を調べる (規模・発生確率)	地震本部 (政府地震調査 研究推進本部)	長期評価	<a href="http://www.iishin.go.jp/evaluation/long_term_evaluation/ltsummary/">http://www.iishin.go.jp/evaluation/long_term_evaluation/ltsummary/</a>	
		防災科学技術 研究所	J-SHIS 地震ハザードステーション	<a href="http://www.iishis.bosai.go.jp/map/">http://www.iishis.bosai.go.jp/map/</a>	アプリあり 住所情報の活用
	震度分布を調べる (海溝型地震)	国土交通省	わがまちハザードマップ	<a href="https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/">https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/</a>	
	震度分布を調べる (活断層型地震)	同上	同上	同上	
		防災科学技術 研究所	J-SHIS 地震ハザードステーション	<a href="http://www.iishis.bosai.go.jp/map/">http://www.iishis.bosai.go.jp/map/</a>	アプリあり 住所情報の活用
	津波浸水深を調べる	国土交通省	重ねるハザードマップ	<a href="https://disaportal.gsi.go.jp/maps/?ll=38.479395,135.703125&amp;z=3&amp;base=pale&amp;vs=c1j010u0">https://disaportal.gsi.go.jp/maps/?ll=38.479395,135.703125&amp;z=3&amp;base=pale&amp;vs=c1j010u0</a>	住所情報の活用
		同上	わがまちハザードマップ	<a href="https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/">https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/</a>	
国土地理院		2万5千分の1 浸水範囲概況図	<a href="http://www.gsi.go.jp/kikaku/kikaku40014.html">http://www.gsi.go.jp/kikaku/kikaku40014.html</a>	東日本大震災の津波 浸水範囲	
水災	主要河川を調べる	国土交通省	川の防災情報	<a href="http://www.river.go.jp/kawabou/ipKozuiMap.do?areaCd=82&amp;gamenId=01-0401&amp;fldCtlParty=no">http://www.river.go.jp/kawabou/ipKozuiMap.do?areaCd=82&amp;gamenId=01-0401&amp;fldCtlParty=no</a>	スマホ版は位置情報 活用
	想定浸水深を調べる	同上	同上	同上	同上
		同上	重ねるハザードマップ	<a href="https://disaportal.gsi.go.jp/maps/?ll=38.479395,135.703125&amp;z=3&amp;base=pale&amp;vs=c1j010u0">https://disaportal.gsi.go.jp/maps/?ll=38.479395,135.703125&amp;z=3&amp;base=pale&amp;vs=c1j010u0</a>	住所情報の活用
		同上	わがまちハザードマップ	<a href="https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/">https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/</a>	
火山	火山の危険エリア等を 調べる	国土交通省	わがまちハザードマップ	<a href="https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/">https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/</a>	
土砂災害	土砂災害の危険エリア を調べる	同上	重ねるハザードマップ	<a href="https://disaportal.gsi.go.jp/maps/?ll=38.479395,135.703125&amp;z=3&amp;base=pale&amp;vs=c1j010u0">https://disaportal.gsi.go.jp/maps/?ll=38.479395,135.703125&amp;z=3&amp;base=pale&amp;vs=c1j010u0</a>	住所情報の活用
		同上	わがまちハザードマップ	<a href="https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/">https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/</a>	

# オフィスの固定対策要領

## オフィス家具等の転倒防止対策の例



※東京消防庁「家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック—室内の地震対策—平成24年7月」より

# 水災における事前対策

平常時の対策	
<p><b>施設管理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 建物の修繕計画を策定し、適用している。</li> <li>・ 建物全体としての健全な状態を維持するためには、部材の適切な修繕・更新周期に基づいて計画的に工事を行うことが重要である。スレートや波状鉄板の更新周期は概ね30年が目安とされている。</li> <li>・ 劣化が顕著になる前の予防保全、修繕費用の把握、工事時期の調整などが可能になる。</li> <li>・ 部材の劣化状況によっては、計画より前倒しでの対応が必要となることも想定されるため、予定の前年などに専門業者による点検を行った上で、工事実施時期を判断することが望ましい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 建物の定期点検項目を明確にし、劣化や損傷、不具合の箇所を修繕・解消している。</li> <li><input type="checkbox"/> 外装材のひび割れや穴 <input type="checkbox"/> 外装材や壁外設置物の留め金具の錆や緩み <input type="checkbox"/> 窓やシャッターのがたつき</li> <li><input type="checkbox"/> 雨漏り箇所 <input type="checkbox"/> 屋上防水の劣化 <input type="checkbox"/> 排水系統の詰まり <input type="checkbox"/> 非常用発電機、排水ポンプの燃料補給・試運転</li> <li><input type="checkbox"/> リスクが大きいと考えられる箇所に対策を施している。</li> <li><input type="checkbox"/> 間柱・小梁による窓枠周りの補強</li> <li><input type="checkbox"/> 窓ガラスへの飛散防止フィルムの貼り付け、あるいは強化ガラス・網入りガラスの採用、あるいは雨戸の設置</li> <li><input type="checkbox"/> 中柱設置によるシャッターの二重化、あるいは重量のあるシャッターへの取換え</li> <li><input type="checkbox"/> スレート、鉄板などの外装材の留め金具の増設</li> <li><input type="checkbox"/> 倒れそうな樹木の補強、あるいは除去</li> <li><input type="checkbox"/> 浸水危険の小さい場所へのデータサーバーや重要書類の保管庫の設置</li> <li><input type="checkbox"/> 重要データの複製</li> <li><input type="checkbox"/> 受電設備の嵩上げ</li> <li><input type="checkbox"/> 浸水センサー、圧速計の設置</li> </ul>
<p><b>資機材・備蓄品</b></p> <p><b>施設・収容品防護用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 土のう <input type="checkbox"/> 止水板 <input type="checkbox"/> 防水シート <input type="checkbox"/> バケツ</li> <li><input type="checkbox"/> パレット（保管品の嵩上げ用） <input type="checkbox"/> はしご</li> <li><input type="checkbox"/> 針金 <input type="checkbox"/> ロープ <input type="checkbox"/> ガムテープ <input type="checkbox"/> 排水ポンプ</li> </ul> <p><b>人命安全確保用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> ヘルメット <input type="checkbox"/> 長靴 <input type="checkbox"/> 手袋 <input type="checkbox"/> 雨合羽</li> <li><input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> ゴムボート <input type="checkbox"/> 担架</li> <li><input type="checkbox"/> 拡声器 <input type="checkbox"/> トランシーバー <input type="checkbox"/> 従業員名簿</li> </ul> <p><b>事業継続・帰宅困難対応</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 非常用発電機 <input type="checkbox"/> 非常食 <input type="checkbox"/> 飲料水</li> <li><input type="checkbox"/> 非常用トイレ <input type="checkbox"/> も布</li> <li><input type="checkbox"/> 簡易間仕切り（プライベート空間の確保）</li> </ul> <p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 配置図（建物や設備、保管品の設置場所が示されたもの）</li> <li><input type="checkbox"/> 危険箇所図（危険箇所が図面に示されたもの）</li> </ul>	<p><b>行動計画・マニュアル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 事前防災行動計画（タイムライン）を策定している。</li> <li><input type="checkbox"/> 災害のピークから逆算した時間軸での対策</li> <li>例：台風最接近時を基準に、-48時間、-24時間、-12時間、-6時間、...、+3時間の実施事項の明確化</li> <li><input type="checkbox"/> 対策実行のきっかけの設定</li> <li>例：気象庁の各種注意報・警報が発表された際の実施事項の明確化</li> </ul> <p><b>別種</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 緊急時の行動基準・対応マニュアルを策定している。</li> <li><input type="checkbox"/> 避難場所の設定 <input type="checkbox"/> 安否連絡・確認方法</li> <li><input type="checkbox"/> 設備の安全な停止方法</li> <li><input type="checkbox"/> 事業継続計画（BCP）を策定している。</li> <li><input type="checkbox"/> 中核事業の特定 <input type="checkbox"/> 目標復旧時間の設定</li> <li><input type="checkbox"/> 取引先との協議 <input type="checkbox"/> 代替策の用意</li> </ul>

※MS&ADインターリスク総研発行レポート(2015年8月)より抜粋

【対策例】

＜止水版の設置＞



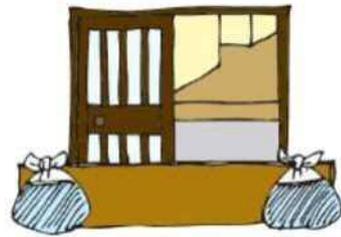
出典：国土交通省「浸水被害防止に向けた取組事例集」より引用

＜土嚢の設置＞



出典：国土交通省「家庭で役立つ防災」より引用

＜水嚢と板による簡易止水版＞



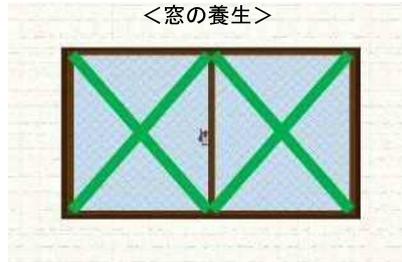
出典：国土交通省「家庭で役立つ防災」より引用

＜排水路の確保＞



出典：国土交通省「家庭で役立つ防災」より引用

＜窓の養生＞



出典：天災インフォ.comより引用

＜排水ポンプの稼働＞



出典：国土交通省「浸水被害防止に向けた取組事例集」より引用

# 大規模水災害に関するタイムライン（防災行動計画）の流れ



※タイムラインに関わる関係機関、防災行動は多岐にわたりますが、本イメージ図は国土交通省の対応や広域避難と交通サービスに着目して整理したものであり、時間軸の設定、対応の実施などにあたっては、今後の検討、調整が必要になります。また、赤字は特に対応強化の必要と考えられる項目です。